

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成27年10月

1. 対象事業	大牟田市南部処理区中部処理系統			
2. 実施主体名称	福岡県大牟田市			
3. 計画期間	平成16年～平成25年			
4. 対象事業の進捗状況	改善目標に対して、以下の対策を実施した。 目標①汚濁負荷量の削減 ・南部浄化センターに雨天時活性汚泥法を導入 ・浜田町ポンプ場に汚水雨水分水堰（転倒式）を設置 目標②公衆衛生上の安全確保 ・上官川汚水幹線等で管内貯留（8,800m ³ ）を実施 目標③きょう雑物の削減 ・浜田町ポンプ場のスクリーン種別を変更（目幅50mm→目幅25mm）			
5. 目標の達成状況と達成の見通し	【改善目標】 目標①汚濁負荷量の削減 →排出汚濁負荷量を分流式下水道同等以下（BOD：117t/年以下）とする。 目標②公衆衛生上の安全確保 →未処理放流回数を半減し、44回/年以下とする。 目標③きょう雑物の削減 →浜田町ポンプ場からゴミ等の流出を抑制する。			
【改善目標に対する達成状況】				
改善項目	評価指標	整備前	改善目標	事後評価
緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
①汚濁負荷量の削減	排出汚濁負荷量(BOD)	146t/年	117t/年	117t/年
②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数	88回	44回	38回
③きょう雑物の削減	スクリーン種別の変更	目幅50mm	目幅25mm	目幅25mm
【改善期限までの目標達成の見通し】 対策は全て完了しており、改善目標は達成している。				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果 BOD：23.5mg/L（採水日：H27.5.18 降雨量：29.0mm）			
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	雨水滞水池の建設を計画していたが、管渠の水位データや降雨予測情報をリアルタイムで活用することにより雨水ポンプの起動を制御し、管内貯留を増量できるようになった。結果、雨水滞水池の貯留分を管内貯留の増量で対応できた。			
8. 今後の方針	大牟田市では合流式下水道緊急改善計画で設定した改善目標を全て達成している。今後は、整備した施設をきめ細かに維持管理するとともに、汚濁負荷量等の推移や新技術の動向に注視し、更なる合流式下水道の改善に努めていくこととしている。			